

紹介受診重点医療機関検討票（基準×、意向○）

(1)医療機関名	十和田市立中央病院					
(2)担当者・連絡先						
(3)基準 (初診40%以上、再診25%以上)	初診基準	52.0%		再診基準	22.8%	
(4)重点外来ごとの割合 ※同一の診療日に重点外来が重複する場合があるため、基準と3つの合計は一致しません	入院前後	高額等機器	特定領域	入院前後	高額等機器	特定領域
	7.1%	32.6%	27.6%	9.5%	14.5%	1.8%
(5)紹介率・逆紹介率 (紹介50%以上、逆紹介40%以上)	紹介率	43.4%		逆紹介率	57.7%	
(6)地域医療支援病院等	<input type="checkbox"/> 特定機能病院 <input checked="" type="checkbox"/> 地域医療支援病院					
(7)病 床 数	一般病床	315床		療養病床	0床	
(8)「意向があり」 の理由 ※考え方を記入してください	<p>以下により、当院は紹介受診重点医療機関と同等の機能を有していると思われますので、対象医療機関の意向有りいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度実績（年間）では、紹介率61.9%、逆紹介率82.4%となっており、参考の水準を満たしている。 ・地域の医療機関との機能分化及び連携を充実し地域医療の確保を支援する「地域医療支援病院」を令和元年10月に取得している。 ・当院において、入院、救急、放射線治療及び化学療法等の急性期医療の提供が可能であり、重点医療機関としての役割を果たすことができる。 					
(9)今後、基準を満たすとする蓋然性 ※客観的な根拠を基に、説明してください	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでは新型コロナウイルス感染症の影響で入院制限や病棟閉鎖に伴い、入院患者数が減っていた。これにより、「医療資源を重点的に活用する入院の前後の外来患者数」も減少傾向となっていた。今後は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことで徐々に入院患者数が増え、「医療資源を重点的に活用する入院の前後の外来患者数」が増えると思われる。 ・検査や処置等を伴わない再診の患者は、かかりつけ医で治療できるよう逆紹介を促進する。 					

(10)基準の達成に向けたスケジュール ※欄に収まらない場合は、資料を添付してください	年 月	具体的な取組	基準の状況
	令和5年12月	<ul style="list-style-type: none"> ・入院患者数を増やす。 ・再診料のみを算定する患者をリストアップし、主治医に提示する。主治医が逆紹介を検討する。 <p>【参考1】令和5年4～9月実績 延べ入院患者数：37,541人 (令和4年4～9月比較 9.6%増) 紹介率：88.1%、逆紹介率：99.1%</p>	初診：52.0% 再診：23.5%
	令和6年2月	<p>【参考2】令和4年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再診料のみを算定する患者数 9,900人（再診患者全体の10.2%） ・検査や処置等を伴わない再診患者数 20,548人（再診患者全体の21.2%） <p>※再診料と処方みの再診患者数を計上</p>	初診：52.0% 再診：25.0%
			初診： 再診：
			初診： 再診：
(11)協議の場における協議内容及び結論			
(12)結果等			

担当：青森県健康福祉部医療薬務課地域医療確保グループ 葛西 陽介 TEL：017-734-9287